



2022年11月18日発行

有限会社 大宮工機

<http://www.ohmiyakouki.com>

取組期間：2021年5月～2022年4月

## 経営理念

“人を想い 人が育ち 人に尽くす”

## 環境経営方針

当社の経営理念に基づき、持続可能な循環型社会の構築に貢献できる企業でありたいと願い、その実現のために努力するとともに環境経営の継続的な改善を実施します。

- ① お客様へ、できるだけ環境にかける負荷が少ない商品を提供するように努めます。
- ② 濁水処理装置の更なる普及など、環境保全事業の拡充を図ります。
- ③ 沖縄の美しい海を保全し、生物多様性の維持に貢献するため、養殖サンゴの苗を移植放流する活動に取り組みます。
- ④ オフィス環境の省資源化、省エネルギー化および廃棄物削減に取り組みます。また、事務用品等の購入に際しては、できるだけ環境に配慮した製品を選定するように努めます。
- ⑤ 使用する車両および機械等について、省資源化、省エネルギー化および廃棄物削減に取り組みます。また、車両および機械等の購入に際しては、できるだけ環境に配慮した製品を選定するように努めます。
- ⑥ 化学物質の適切な管理と適切な使用量の設定等に努めます。
- ⑦ 持続可能な循環型社会の構築に向けて、社員、お客様、お取引先、地域の皆様等へ環境情報の提供に努めます。
- ⑧ 環境に関する法律、規則及び条例等を遵守し、環境保全に努めます。
- ⑨ 全社員が一丸となって環境保全活動に取り組みます。

2006年12月1日制定  
2021年10月26日改訂

有限会社 大宮工機  
代表取締役 宮城光秀

## 【1】 事業活動の概要

### 1) 事業所名及び代表者氏名

有限会社 大宮工機  
代表取締役 宮城光秀

### 2) 環境管理責任者

上原忠浩

### 3) 所在地等

本社：沖縄県島尻郡八重瀬町字外間 99 番地 1  
電話：098-851-9203 FAX：098-851-9204  
山川機材センター：沖縄県島尻郡南風原町字山川 285 番地 1  
ホームページアドレス：<http://www.ohmiyakouki.com>  
東風平ヤード：沖縄県島尻郡八重瀬町字東風平 729 番地 1

### 4) 事業の内容

- ・ 建設機械のレンタル・販売・修理
- ・ 赤土対策・濁水処理事業
- ・ レンタカー事業

### 5) 事業年度

5月1日から翌年の4月末日まで

### 6) 事業の規模

表1. 事業の規模

活動規模	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
		2017.3～ 2018.2	2018.3～ 2019.2	2019.3～ 2020.2	2020.5～ 2021.4	2021.5～ 2022.4
売上高	百万円	386	398	384	371	374
社員数	人	35	35	37	36	34

※ 社員数は年度末時点での人数とする。

### 7) 認証・登録範囲

全組織、全活動

【2】 主要な環境経営計画の内容と取組結果

下記①～②より、目標値を設定した。

- ① 各項目とも売上高（百万円）当たりの量で目標値を設定する。
- ② 過去3年間の実績値より、それぞれの項目で最も低い値を基準値として定め、その値より1%ずつ下回ることを目標とする。

※購入電力による温室効果ガス排出量は年により CO<sub>2</sub> 排出係数が変化することとエネルギー投入量で目標を設定している為、目標値は設定しない。

表1に過去3年分の実績値と 21年度～23年度の目標値を示す。

表2. 過去3年間の実績値と目標値

項目		単位	'18年度	'19年度	'20年度	基準値	'21年度 目標値 (前年度 -1%)	'22年度 目標値 (前年度 -1%)	'23年度 目標値 (前年度 -1%)
			売上高	百万円	384		386	398	
総エネルギー投入量	購入電力	kWh/百万円	77	83	124	77	76	75	75
	化石燃料	ℓ/百万円	166	194	167	166	164	163	161
総物質投入量	紙資源投入量	kg/百万円	0.72	0.68	0.86	0.68	0.67	0.67	0.66
水使用量	水使用量	m <sup>3</sup> /百万円	2.31	3.04	2.27	2.27	2.25	2.22	2.20
二酸化炭素総排出量	購入電力	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	59.5	63.6	97.9	59.5			
	化石燃料	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	408	479	411	408	404	400	396
	総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	186,139	208,326	188,953	186,139			
廃棄物等総排出量	一般廃棄物 (再生利用)	kg/百万円	2.27	2.54	2.55	2.27	2.25	2.22	2.20
	一般廃棄物 (焼却発電)	kg/百万円	64.3	61.5	50.0	50.0	49.5	49.0	48.5
	産業廃棄物 (再生利用)	kg/百万円	29.6	43.1	41.4	29.6	29.3	29.0	28.7
	産業廃棄物 (単純焼却)	kg/百万円	2.31	3.04	2.27	2.27	2.25	2.22	2.20

表 3 に、目標値と結果及び評価について示す。

表 3. 目標値と結果及び評価

項 目		単 位	目 標 値	21 年 度 結 果	結 果 (±%)	評 価
総エネルギー投入量	購入電力	kWh/百万円	76	135	77.1	×
	化石燃料	kWh/百万円	164	152	△ 7.5	○
総物質投入量	紙資源投入量	kg/百万円	0.67	0.86	27.7	×
水使用量		m <sup>3</sup> /百万円	2.27	1.78	△ 21.6	○
総排水量		m <sup>3</sup> /百万円	2.27	1.78	△ 21.6	○
温室効果ガス排出量	購入電力	kg-CO <sub>2</sub> /百万 円	59.5	106.1	78.3	×
	(排出係数)					
	化石燃料	kg-CO <sub>2</sub> /百万 円	408	374	△ 8.3	○
	<b>総排出量</b>	<b>kg-CO<sub>2</sub></b>	<b>186,139</b>	<b>179,641</b>	<b>△ 3.5</b>	<b>○</b>
廃棄物等総排出量	一般廃棄物(再生利用)	kg/百万円	4.26	2.84	△ 33.3	○
	一般廃棄物(焼却発電)	kg/百万円	2.27	3.92	72.69	×
	産業廃棄物(再生利用)	kg/百万円	50.0	24.8	△ 50.40	○
	産業廃棄物(単純焼却)	kg/百万円	29.6	18.9	△ 36.1	○

※2021 年度の CO<sub>2</sub> 排出係数は、沖縄電力(株)2019 年度調整後排出係数の 0.787kg-CO<sub>2</sub>/kWh を使用した。

※2021 年度の売上高は 374 百万円である。

【3】主要な環境経営計画の内容と取組結果の評価

環境方針①

方 針		2021 年度の環境経営計画	2021 年度の取組結果と評価
お客様へ、できるだけ環境にかかる負荷が少ない商品を提供するように努めます。	担当 上原弘之	(1)発電機(出力 25~60kVA)は、極超低騒音型が占める割合 100%をめざす。	2021 年度は極超低騒音発電機の購入はなかった。インバーター式発電機は 3 台更新した。従来のハンディバルーンライトは水銀も封入されているメタルハライドランプを使用していたが、2021 年度からLEDタイプを導入し、その割合は投光器が 26%、ハンディバルーンは 51%となっている。
		(2)従来型の発電機より環境負荷の少ないインバーター式発電機の導入を進める。	

環境方針②

方 針		2021 年度の環境経営計画	2021 年度の取組結果と評価
濁水処理装置の更なる普及など、環境保全事業の拡充を図ります。	担当 中村岸本	(1)20 年度の濁水処理装置保有台数は 33 台で稼働率 68%、流出防止土砂量は 668tであった。2021 年度は稼働率 70%、土砂量 700tをめざす。 (2)より高度な処理(透明度をあげる)を行う装置を開発し、それを現状の装置に付加していく。 (3)情報発信と濁水処理装置の普及に努める。	2021 年度の装置の保有台数は 45 台で、2020 年度より 12 台増え稼働率は 68%だった。稼働率の変動はなかったが、保有台数が増加しても稼働率を維持できたことは、濁水処理事業の普及が広がったと考えられる。2021 年度は 942t の土砂の流出を防止でき 41%増加した。今後も濁水処理事業の普及活動に取り組み、より多くの土砂流出を防止したい。

環境方針③

方 針		2021 年度の環境経営計画	2021 年度の取組結果と評価
沖縄の美しい海を保全し、生物多様性の維持に貢献するため、養殖サンゴの苗を移植放流する活動に取り組みます。	担当 中村岸本	(1)2009 年 1 月から「海の種」の協力により、養殖サンゴの苗を海へ移植放流する活動を行っている。濁水処理装置を 1 台納入する毎にサンゴの苗を 1 本移植放流し、装置を使用して頂いたお客様に、移植したサンゴの写真添えて「海からの感謝状」を届ける。 2020 年度は 76 本、これまでに 594 本を移植放流した。2021 年度は 70 本を目標にする。	2021 年度は 71 本であった。装置保有台数が増加しているので、濁水処理事業の普及に努め、サンゴの移植放流数を増加させたい。2022 年度より装置納入から半年経過毎にサンゴの苗を 1 本追加移植することにし、より多くのサンゴを移植していきたい。

環境方針④

方 針	2021 年度の環境経営計画	2021 年度の取組結果と評価
<p>オフィス環境の省資源化、省エネルギー化および廃棄物削減に取り組めます。また、事務用品等の購入に際しては、できるだけ環境に配慮した製品を選定するように努めます。</p>	<p>(1) 電力</p> <p>①事務所の使用しない電気器具のスイッチをこまめに切る。</p> <p>②電気器具のスイッチの近くに「節電」等を掲示し、社員の意識向上を図る。</p> <p>③事務所および休憩室の冷房の室温を 28℃以上、暖房を 23℃以下に設定する。夏場は休憩室を使用する前に換気をして、熱を逃がしておく。また、休憩室の冷房器具を交換時期に省エネルギー型に入れ替える。</p> <p>④事務所のエアコン、プリンタ等を交換時期に省エネルギー型に入れ替える。</p> <p>⑤パソコンを使用していないときは電源を落とすなど、使用電力の削減に努める。</p> <p>⑥太陽光発電等自然エネルギーを利用した設備の導入を検討する。</p> <p>⑦必要に応じて、自動点灯式照明器具を導入する。</p> <p>⑧エアコンの清掃をこまめにする。</p>	<p>外間事務所 100V は、776kwh(6.9%)増加した。2020 年度は事務所移転後の 7 月から新たにエアコンや冷蔵庫、ウォーターサーバーを設置し使用を始め、2021 年度より 2 ヶ月間これらの使用期間が短く、その為 2021 年度は前年に比べ使用電力量が増加したと考えられる。</p> <p>外間事務所 200V は、47kwh(0.4%)増と特に変化はみられなかった。</p> <p>機械置場 100V は、361kwh(26%)増加した。2020 年度は引越しの為に南風さんの作業期間が例年より 2 ヶ月程度短く、その為 2021 年度は、電力量が増加したと考えられる。</p> <p>機械置場 200V は、21kwh(24%)増加した。これも引越しによる使用期間(8 月に受電し 9 ヶ月間の集計)の違いがあり、2021 年度は増加となった。</p> <p>自然エネルギーの利用については、2022 年 3 月に太陽光発電(11.66kwh)と蓄電池(6.5kwh)を導入した。</p>
	<p>(2) 水資源</p> <p>①節水コマの使用や蛇口レバーに工夫をするなどして、無駄を省く。</p> <p>②水漏れをふせぐ。(週に 1 度事務所・ヤードの水道のある力所で水漏れがないか確認する。)</p> <p>③社員一人一人が節水を心がけるように、水道がある所に節水を促す掲示をする。</p>	<p>外間事務所の使用量は 4 m<sup>3</sup>(1.7%)減少した。特に大きな変化はない。</p> <p>機械置場の使用量は 15 m<sup>3</sup>(48%)増加している。前年度に比べてコンテナハウスやテントの洗浄作業が増えたためと考えられる。</p>
	<p>(3) 紙資源</p> <p>①ファックスの受信・送信、保存文書などの電子化により、コピー用紙の使用を抑制する。</p> <p>②コピー用紙、名刺、トイレトペーパーなどは再生紙を使用する。</p> <p>③社内会議ではプロジェクターを使用する等して、コピー用紙の使用を抑制する。</p> <p>④コピー用紙の裏紙をメモ用紙として再利用する。</p> <p>⑤社内で使用する資料等は、できるだけ両面印刷をし、連絡事項などは社内コミュニケーションアプリを使用する。</p>	<p>2020 年度より 3.7 kg(1.2%)増加する結果となった。2020 年度は事務所移転があり、住所変更のため伝票の購入数量が増加していたが、2021 年度はレンタル基本料の設定に伴い伝票用紙の変更を行ったため、2020 年度と同様に購入数量が増加したと考えられる。</p> <p>これからも、社内で使用する資料等はできるだけ両面印刷を心がけ、コピー用紙の使用を抑制していく。</p>

	担当 志良堂	<p>(4) 廃棄物排出量の削減</p> <p>① 一般廃棄物の分別を徹底する。(燃やすゴミ、アルミ缶、スチール缶、ペットボトル、ビン等)その内、有価物(新聞、OA用紙、段ボール、雑誌)は、障害者福祉サービス事業所ワークプラザ南風へ提供する。</p> <p>② 乾電池は、できるだけ充電式乾電池を使用する。</p> <p>③ マイボトル・マイ箸などを使用して、ゴミを出さないようにする。</p> <p>④ コピー用紙の裏紙をメモ用紙として再利用する。(再利用した紙も再生紙とする。)</p> <p>⑤ 事務所で使用する消耗品は、詰め替え可能なものとするように努める。</p> <p>⑥ 確実に計測をするために、担当者を決める。</p>	<p>2020年度の6月は計量表を紛失したため、5月・7月・8月の平均値を代入した。</p> <p>再生利用の一般廃棄物の排出量は532kg(33.4%)減少した。2021年度の排出量は平年並みであったが、2020年度が本社移転により排出量が増えたため、今年度は減少した。</p> <p>焼却発電の一般廃棄物の排出量は522kg(55.2%)増加した。2021年度は古い書類の処分や草刈作業(本社周囲と各ヤード)を行ったため、排出量が増えたと考えられる。</p> <p>2020年度は、記入漏れと計量表の紛失があったので、今後は連携を図り記入漏れを無くし、計量表を紛失しても対応できるよう日々データでも残していく。</p>
	担当 志良堂	<p>(5) グリーン購入</p> <p>① 事務所内の備品は、グリーン購入チェックリストを作成し、環境に配慮したものとするように努める。</p> <p>② チェックリストを定期的に見直す(3月・9月)</p>	<p>社内で使用する紙は再生紙を使用、事務用品などは詰め替え用を使用するなど、品質や価格だけではなく環境への影響ができるだけ小さい製品を選び、グリーン購入に取り組んでいる。今後も、環境に配慮した商品の購入に努めたい。</p>

#### 環境方針⑤

方針	2021年度の環境経営計画	2021年度の取組結果の評価	
使用する車両および機械等について、省資源化、省エネルギー化および廃棄物削減に取り組めます。	担当 大城宏文	<p>(1) 電力</p> <p>① 高圧洗浄機の適切な使用を心掛ける。</p> <p>② 作業場の使用していない電気器具のスイッチをこまめに切る。</p> <p>③ 必要に応じて、自動点灯式の照明器具を導入する。</p> <p>④ 使用しない電気器具は撤去する。</p> <p>⑤ 作業場の使用しない電気器具は、コンセントを抜くようにする。</p>	<p>山川ヤード100Vは3.144kwh(15%)増加した。これは、山川ヤードで発行する伝票用紙が湿気で使用できなくなるため、除湿のために夜間や休日にもエアコンを使用しているためと考えられる。</p> <p>山川ヤード200Vは71kwh(4.8%)増加した。これは、仮設トイレや濁水処理装置等の機械の洗浄作業が増え、高圧洗浄機の使用頻度が増えた事が考えられる。</p>
	担当 中村	<p>(2) 燃料</p> <p>① 車両および建設機械には、適切な燃料を使用する。</p> <p>② 車両および建設機械の不必要なアイドリング、空ふかしの禁止。</p> <p>③ 安全運転を徹底し、適切な車間距離を保ち、急発進、急加速、急停止などを極力避ける。</p> <p>④ 配送車両の過積載をしない。</p> <p>⑤ 車両の日次点検(オイル・クーラント・タイヤの空気</p>	<p>2021年度のガソリン使用量は、1638ℓ(9.4%)減少した。これは、営業車1台と配達車両1台を廃車にした事と、お客様が満タンにして返品する事が増えた為と考えられる。また、今年度もコロナ禍のためエコドライブ講習会に参加出来なかった。</p>

また、車両および機械等の購入に際しては、できるだけ環境に配慮した製品を選定するように努めます。		庄)を行う。 ⑥パソコン等で地図を確認して、適切な配送ルートをとる。 ⑦燃費効率が悪い車両の入れ替えを行う。 ⑧エコドライブ講習会を年1回以上実施する。	
	担当 上原 弘之	(3)水資源 ①できるだけ雨水タンクに貯水した水を使用する。 ②機械等の洗浄水は、濁水処理設備で処理し再利用する。 ③仮設トイレなどの洗浄に高圧洗浄機を使用することによって、水の使用を少なくする。 ④雨水タンクに流水計の設置を検討する。	山川ヤードの水使用量は 65 m <sup>3</sup> (14.5%)減少した。バックホウやテントのホコの洗浄が減ったことと、タンクに水道水を補充せず雨水で洗浄作業を行ったためと考えられる。
	担当 岸本	(4)廃棄物排出量の削減 ①廃棄物の分別を徹底し、できるだけ有価物(鉄くず、廃油、バッテリー等)を増やすようにする。 ②バックホー等に付着する泥を、できるだけ現場で落とすなどして、自社に持ち込まない。 ③廃棄物の分別を細かくするために、品目別にフレコンパックを使用して仕分ける。	産廃は 9,257kg(60%)減少した。2020年度はヤード移転に伴い増加したが2021年度は平常通りであった。廃油は 1.0kgで、2020年度の 1.2kgとあまり変化はなかった。 残土は 3040kg(100%)増加した。2020年度に処分出来なかった洗い場の残土を処分したためと考えられる。 金属は 4027kgで 14526kg 減少した。産廃と同様2020年度はヤード移転に伴い増加したが2021年度は平常並みであった。これからも廃棄物の分別に努め、リサイクルに取り組んでいきたい。
担当 上原 弘之	(5)グリーン購入 ① 車両および機械等を購入する際は、環境への負荷が少ないものを選ぶ。また、グリーン購入製品リストを作成し、環境負荷低減型商品の導入を進めていく。 ②商品別製品リストを作成する。	2021年度はインバーター式発電機を3台更新した。ライト類もLEDタイプのものを導入している。今後も環境に配慮した製品を選定し、グリーン購入を進めていきたい。	

#### 環境方針⑥

方針		2021年度の環境経営計画	2021年度の実行結果と評価
化学物質の適切な管理と適切な使用量の設定等に努めます。	担当 忠浩	(1)関係法令や規則を遵守するため、管理方法や取扱い基準をまとめ社員へ周知する。	薬品保管庫内に「薬剤数量管理表」及び「薬剤の取扱い基準」を掲示し、薬剤の数量管理や取扱いを適切に行っている。
		(2)当社で取り扱う化学薬品の特徴や取扱いについて、社内学習会を行う。(年1回)	6月26日の全体ミーティングにおいて、自社で取り扱っている化学薬品(凝集剤やpH中和剤)について学習会を行った。

環境方針⑦

方 針		2021 年度の環境経営計画	2021 年度の取組結果と評価
持続可能な循環型社会の構築に向けて、社員、お客様、取引先、地域の皆様等へ環境情報の提供に努めます。	担当 上原忠浩	(1) 環境問題について社内学習会を行う。(年1回)	12月25日の全体ミーティングにおいて、県内の河川や海岸等の現状について社内学習会を行った。
		(2) お客様、取引先等へ環境活動レポートを配布する。また、ホームページやラジオ番組、CM等を活用して、環境情報を提供する。	2021年度も継続してホームページや、ラジオ番組「人間大好きリレージョッキー」で環境への取組み等の発信を行っている。
		(3) 環境フェア等へ出展する。	今年度はコロナ渦ということもあり、フェアが開催されず出展出来なかった。

環境方針⑧

方 針		2021 年度の環境経営計画	2021 年度の取組結果と評価
環境に関する法律、規則及び条例等を遵守し、環境保全に努めます。	担当 上原忠浩	(1) 環境関連法規のとりまとめを行ない、遵守状況を毎年3月と9月に確認する。	4月20日と11月22日に確認を行った。環境関連法規は全て遵守されている。
		(2) 環境関連法規についての社内学習会を行う。 (年1回)	12月25日の全体ミーティングにおいて、濁水処理装置と事業所排水(法令・法規)について学習会を行った。

環境方針⑨

方 針		2021 年度の環境経営計画	2021 年度の取組結果と評価
全社員が一丸となって環境保全活動に取り組めます。	担当 上原忠浩	<p>(1) 環境保全活動について、責任と権限を明確にした実施体制を構築する。また、定期的に社員教育を行ない、社員のレベルアップを図る。</p> <p>① 6ヶ月に一度、全社ミーティングでエコアクション21の取り組み状況を確認し、改善点等について検討する。(年2回)</p> <p>② 環境委員会を定期的に開き(毎月1回)、環境委員のレベルアップを図る。</p> <p>③ エコドライブ講習会など外部講習会に参加する。</p>	<p>2021年度はメンバーの入替えもあり、新たな実施体制で環境保全活動をすすめ、社員の環境意識向上に努めている。</p> <p>① 今年度の環境レポートは DocuWorks に掲載し社員が確認できるようにしていたが、全体ミーティングでの発表は行えなかった。今年度中には2020年度と2021年度のエコアクション21の取組みについて発表を行いたい。</p> <p>② 今年度は環境委員会を11回開いた。</p> <p>③ コロナ感染症によりエコドライブ講習会が開催されず、受講出来なかった。</p>

#### 【4】13年間の環境活動の取組結果

図1. 過去13年間の総エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量（売上高百万円当たり）

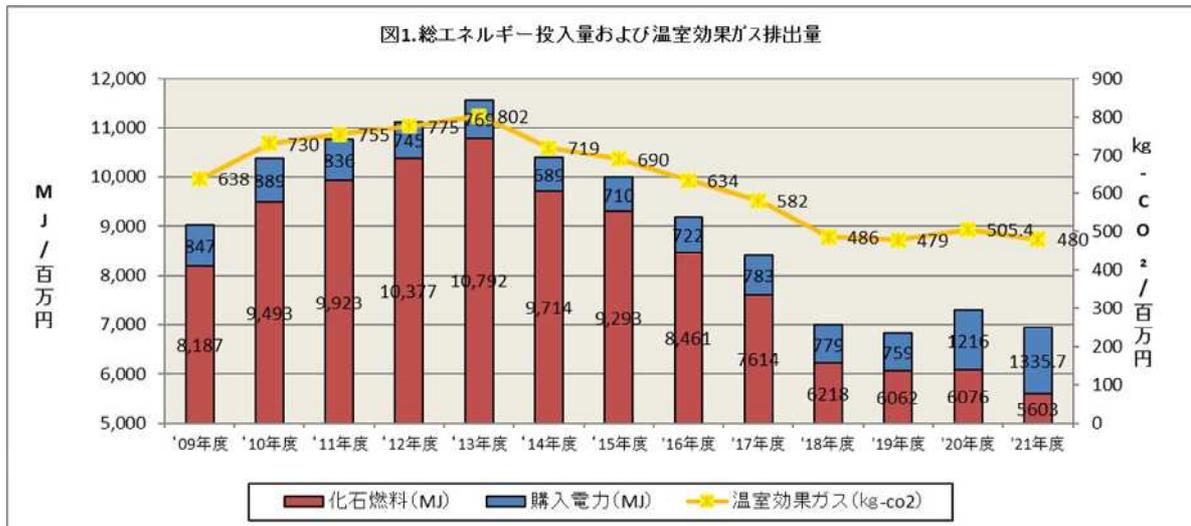


図1より、温室効果ガス排出量のうち化石燃料が減少しているのは、車両を2台処分したためと考えられる。購入電力は増加しているため、今後はもう一歩進んだ取り組みが必要と思われる。

図2. 過去13年間の一般廃棄物排出量（売上高百万円当たり）

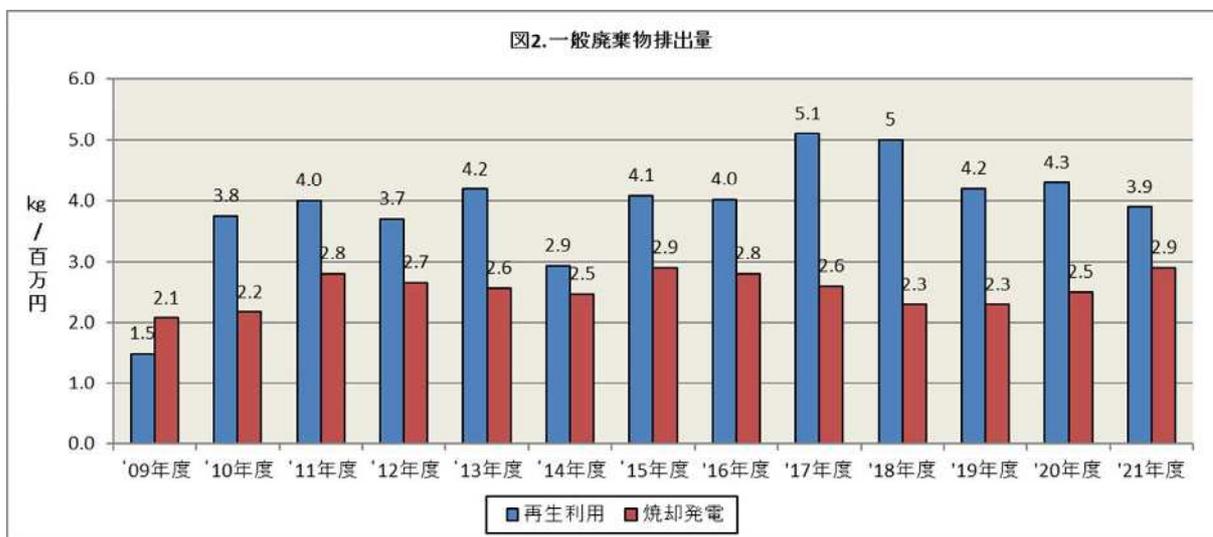


図2より、再生利用は、2017年度をピークに減少してきている。これは分別の徹底が進んだためと考えられる。

焼却発電は2020年度より0.4kg/百万円増加している。これは古い書類の処分や草刈作業(本社周囲と各ヤード)を行ったため、排出量が増えたと考えられる。

図 3.過去 13 年間の産業廃棄物排出量（売上高百万円当たり）

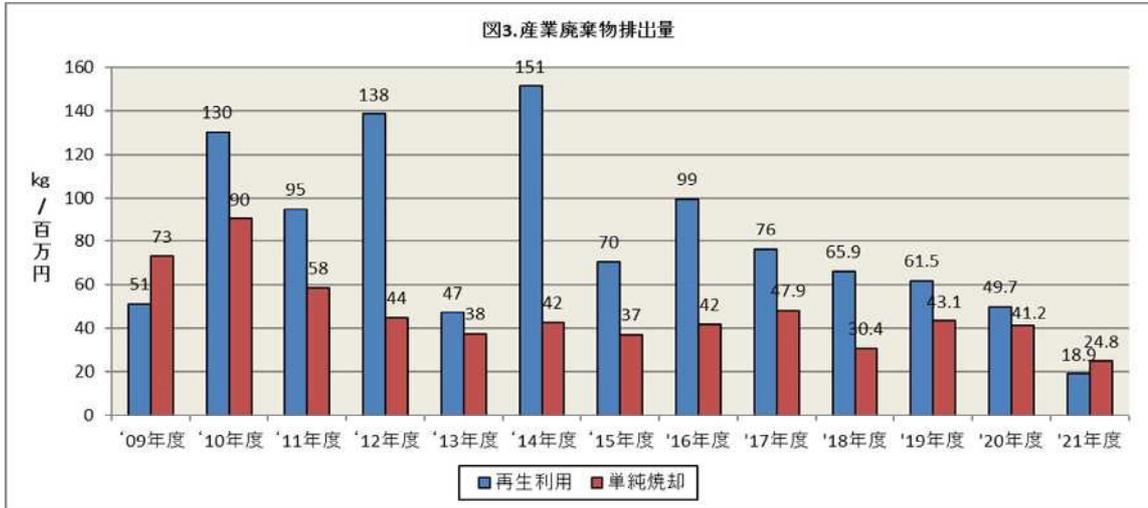


図 3 より、ここ数年再生利用、単純焼却ともに減少している。社員の環境への意識が向上して分別の徹底が進み、リサイクル率が向上してきていると考えられる。

図 4.過去 13 年間の紙資源・水資源投入量（売上高百万円当たり）

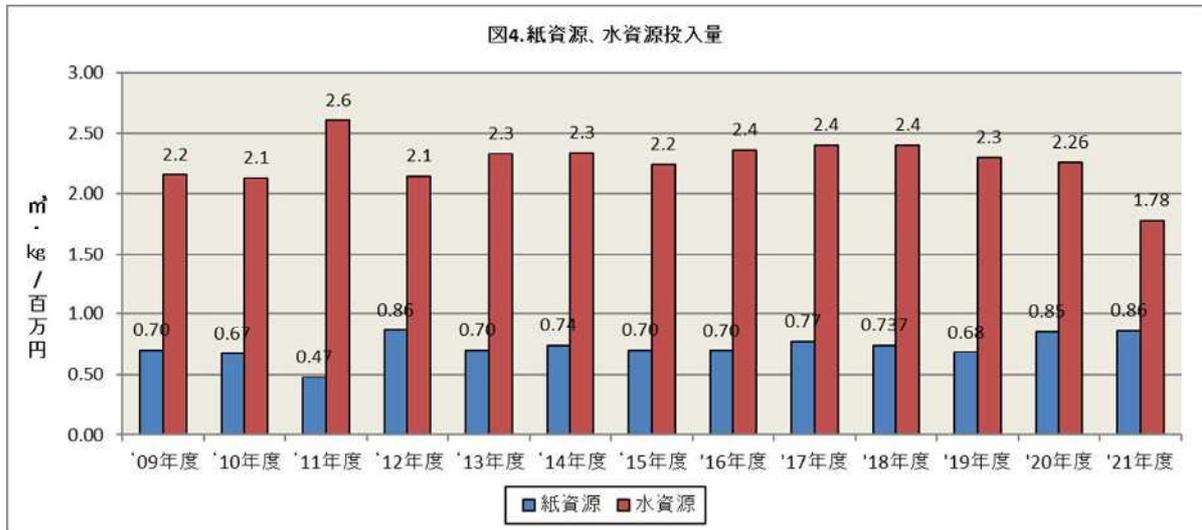


図 4 より、紙資源は、あまり大きな変動はみられない。水資源が減少したのは、雨水利用を増やした為と考えられる。

表 5 に養殖サンゴの苗の移植放流数を示す。

表 5. 養殖サンゴの苗の移植放流数

申し込み年月	本 数	移植年月日
2009 年度合計	17 本	
2010 年度合計	57 本	
2011 年度合計	62 本	社員分 27 本含む
2012 年度合計	28 本	
2013 年度合計	38 本	
2014 年度合計	79 本	35 周年記念含む
2015 年度合計	47 本	
2016 年度合計	50 本	
2017 年度合計	35 本	
2018 年度合計	59 本	
2019 年度合計	46 本	
2020 年度合計	76 本	
2021 年度合計	71 本	
<b>合 計</b>	<b>665 本</b>	



2009 年度から「海の種」様の協力を得て、養殖サンゴの苗の移植放流活動を行っている。

移植放流後、サンゴ移植完了報告書『海からの感謝状』をお客様に届けている。

13 年間で 665 本の移植放流を行った。

## 【5】次年度の主な活動計画

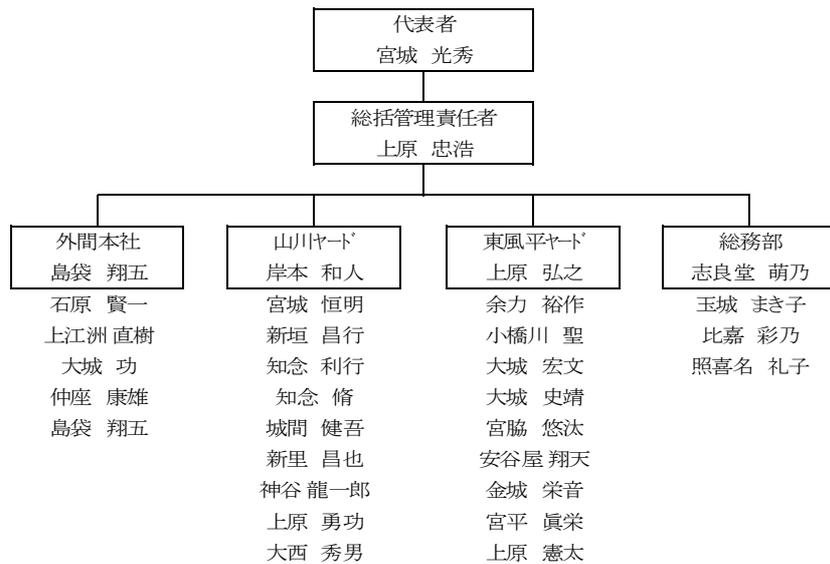
<b>環境方針① お客様へ、できるだけ環境にかかる負荷が少ない商品を提供するように努めます。</b>
・極超低騒音型・インバーター式発電機とLED照明器具の導入を更にすすめます。
<b>環境方針② 濁水処理装置の更なる普及など、環境保全事業の拡充を図ります。</b>
・お客様のニーズに対応した濁水処理装置や計測装置の開発をすすめます。
<b>環境方針③ 沖縄の美しい海を保全し、生物多様性の維持に貢献するため、養殖サンゴの苗を移植放流する活動に取り組みます。</b>
・引き続き、濁水処理装置を1台納入するごとに、養殖サンゴの苗1本を移植放流する活動に取り組みます。2022年度より納入から半年経過毎に1本追加で移植放流を行います。
<b>環境方針④ オフィス環境の省資源化、省エネルギー化および廃棄物削減に取り組みます。また、事務用品等の購入に際しては、できるだけ環境に配慮した製品を選定するように努めます。</b>
(1) 電力・・・電気器具のスイッチをこまめに切り工夫を重ねて節電に取り組みます。エアコンのメンテナンスを行います。 2022年3月に太陽光発電を設置したので、その効果を確認します。山川ヤードへ太陽光発電の設置を進めます。
(2) 水資源・・・節水コマの使用や蛇口レバーに工夫をするなどして、無駄を省きます。
(3) 紙資源・・・文書管理システム等の活用により、更なるペーパーレス化で削減を図ります。
(4) 一般廃棄物・・・分別を徹底し、計測の精度を上げる取組をします。
(5) グリーン購入・・・環境に配慮した商品の購入に努めます。
<b>環境方針⑤ 使用する車両および機械等について、省資源化、省エネルギー化および廃棄物削減に取り組みます。また、車両および機械等の購入に際しては、できるだけ環境に配慮した製品を選定するように努めます。</b>
(1) 電力・・・高圧洗浄機等の適切な使用や作業場照明のLED化等を行い、節電に取り組みます。
(2) 燃料・・・安全運転を徹底し、急発進、急加速、急停止などを極力避けます。 エコドライブ講習会に、未受講の社員を優先的に参加させます。
(3) 水資源・・・レンタル品や車両の洗浄に雨水や処理水を利用し、水資源の使用削減に努めます。
(4) 廃棄物排出量の削減・・・分別を徹底し、資源の再利用に努めます。
<b>環境方針⑥ 化学物質の適切な管理と適切な使用量の設定等に努めます。</b>
・化学物質の適正な管理を徹底します。
・化学物質の特徴や取扱いについて社内学習会を行います。(年1回以上)
<b>環境方針⑦ 持続可能な循環型社会の構築に向けて、社員、お客様、お取引先、地域の皆様等へ環境情報の提供に努めます。</b>
・環境問題について社内学習会を行います。(年1回) ・中小企業家同友会の「見本市」に出展します。
・お客様、お取引先等へ環境活動レポートを配布します。また、ホームページやラジオ番組、CM等を活用して環境情報を提供します。
<b>環境方針⑧ 環境に関する法律、規則及び条例等を遵守し、環境保全に努めます。</b>
・環境関連法規のとりまとめを行ない、遵守状況を3月と9月に確認します。
・環境関連法規について社内学習会を行います。(年1回)
<b>環境方針⑨ 全社員が一丸となって環境保全活動に取り組みます。</b>
・全社員でエコアクション21の取組状況を確認し、改善点等について検討します。(年1回)
・環境委員会を定期的に関き、環境委員のレベルアップを図ります。(月1回)
・エコドライブ講習会などの外部講習会に参加します。

**【6】環境関連法規等への違反、提訴等の有無**

以下の環境関連法規への違反、提訴等は1987年5月設立以来、1件もありません。  
 廃棄物処理法・家電リサイクル法・水質汚濁防止法・下水道法・浄化槽法  
 オフロド法・自動車リサイクル法

**【7】実施体制図**

**(有)大宮工機 エコアクション21 実施体制図**



- 外間本社(担当:島袋 翔五)
- ①節電・節水に取り組む
  - ③配送車両の燃費計測を行う。
  - ④エコドライブの普及、浸透に取り組む

- 山川ヤード(担当:岸本 和人)
- ①節電・節水に取り組む
  - ②洗い場・産廃コンテナ・廃油等の管理を行う。
  - ③残土等の管理を行う。
  - ④濁水処理事業の拡充に取り組む。

- 東風平ヤード(担当:上原 弘之)
- ①節電・節水に取り組む

- 総務部(担当:志良堂 萌乃)
- ①電気・水道・紙資源等の節約に取り組む。
  - ②各種データ整理を行う。

※ 各担当者は、それぞれの取り組み事項を実施、管理する責任と権限を有します。  
 統括管理責任者は、それぞれの取り組みを管理する責任と権限があります。

## 【8】 代表者による全体評価と見直し

地球温暖化に起因する異常気象等により、近い将来、地球上の多くの生命の生存が脅かされる事態となることが予想されている。それに加えて、ウクライナにおける戦争により、食料、エネルギー、原材料等の生産・供給が滞り、物資の不足や物価高騰が引き起こされている。日本政府は2050年までに温室効果ガス排出を全体としてゼロにすることを表明し、エネルギー政策を見直した。当社も温暖化をはじめとする環境問題を最重要課題として捉え、継続した取り組みを進めていきたいと考えている。

当社のエコアクション21の取り組みは16年目となり、環境活動レポートの作成を速やかに（4か月以内）行なうことを目標としたが、今年度もコロナウィルス感染症の影響で活動が制限され、約6か月かかってしまった。

2020年5月に本社を移転し、山川機材センターを開設してから2回目のレポートとなる今回は、昨年度と比較して良くなった点や改善すべき点を洗い出し、効果的かつ持続可能な取り組みを進める契機としてもらいたい。

環境方針①～⑨の評価と見直しについて、下記に述べる。

環境方針①では発電機とライトについて考察がなされ、低騒音型やLEDなど、より環境負荷が小さい製品の導入が進んでいる。今後は、それら以外にも考察の幅を広げてほしい。

環境方針②では、濁水処理装置の保有台数は増やしながらも稼働率は維持できたため、流出防止土砂量を41%増加させることが出来た。今後も更に増加できるよう取り組んでもらいたい。

環境方針③では、濁水処理装置の保有台数を増やしたため目標より多くのサンゴを移植放流することが出来た。引き続き、社内外にこの活動の意義や成果を周知する取り組みを進めてほしい。

環境方針④、⑤は、本社およびヤードにおける使用量や排出量の分析を行ない、より適切な使用に近づけるよう努力してもらいたい。

環境方針⑥～⑨については、コロナ禍の影響で学習会の開催や外部講習会への参加が計画通りできていないことが散見された。今後はオンラインを利用した取り組みを行なう等工夫してほしい。

- |         |             |
|---------|-------------|
| ・環境経営方針 | 変更せず今後も継続する |
| ・環境経営目標 | 変更せず今後も継続する |
| ・環境経営計画 | 変更せず今後も継続する |
| ・実施体制   | 変更せず今後も継続する |